

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所あいらすたぁ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日や祝日、長期休み等は外出活動に力を入れています。安全第一を考え、その中にも楽しみを見出しただけのよう日々従業員で話し合いを行って計画書を作成しています。ご家庭によってはお仕事のご都合もあり、中々外出が難しい方も居られる為今後も継続していきたくと考えています。	外出時に交友関係を広げていくことが出来るよう活動班の組み合わせに配慮しています。また大きいお友達や年下のお友達のリーダーシップをとる機会も設けさせて頂いています。	他事業所さんとも交流を図らせていただく機会を設けていきたいと考えています。
2	法人内に事業所数が多いので、大きなイベントでは合同で活動することもあります。その際に仲の良いお友達としてだけでなくライバルとしてお互いに練習の成果を発揮し合い称え合う機会を設けさせて頂いています。また就労支援が中心となってイベントを催し、利用者様同士の交流の場も設けさせて頂いています。	練習期間を設け、自事業所のチームの勝利に向けて団結力を高める機会を設けさせて頂いています。目標に向けて努力し、プレッシャーに打ち勝てるようメンタル面のケアもさせて頂いています。またイベントによってはお買い物の練習もさせて頂いており、お金の管理について学ぶ機会も設けさせて頂いています。	お子様の頑張りを送迎時の報告や連絡帳だけでなく実際に見ていただけるよう保護者参加型の形にしていきたいと考えています。従業員もより一層緊張感を持つことが出来、イベントの精度に磨きをかけていきたいと考えています。
3	新しい事にどんどん取り組んでおり、関連会社の駄菓子屋さん、たご焼き屋さん、ガチャガチャ屋さんにお買い物に定期的に何わせていただいています。居宅介護や短期入所等のご相談にも乗らせていただいています。	ご家族様のご要望に応じて事業所外のサービスとも繋がる事が出来、総合的な支援を行わせていただいております。	皆様のご要望にお応えできるよう、各事業所で研修による知識を高めサービス数の多さに更に質の高さを年々足していける体制を構築します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや町内会と交流の機会をあまりもつことが出来ない。	大型イベントのみではなく地域密着型のイベントの開催を検討していきたい。依然行っていた地域清掃の再開も検討する。	法人内の就労支援とも協力し合い、地域の方を事業所にお招きする形でのお祭りの開催等を目指していきたい。
2	保護者同士の交流の場やペアレントトレーニングの場を設ける事が出来ていない。	お仕事のご都合もあり、各ご家庭との日程調整が難しい。時間帯等もご家庭に配慮した形での提案が必要である。	今後保護者の方と事業所、保護者様同士での意見交換が出来る機会を設けていきたいが、その為の体制作りが求められる。
3	知識や経験の差から、従業員間に能力差が生まれてしまっている。	全体のレベルの底上げだけでなく従業員の役割分担に合わせて特化させて強みを活かす形も検討する。	どの従業員でも安心して任せていただけるよう更に研修の機会を設け、従業員一人一人の課題に合わせた教育体制が必要である。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所あいらすたあ

公表日 令和7年 3月 26日

利用児童数 3人

回収数 3人

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67%	33%	0	0	活動によって少し狭く感じると聞いている。	レイアウトの変更などをしてスペースを確保します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0	0	0	適切にしてくれていると思う。	今後も安全に注意した職員配置を致します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	67%	33%	0	0	ホワイトボードで分かりやすくしてあった。階段があったり、廊下が少し狭く感じる。	車椅子利用児などの受け入れも考え、レイアウトの変更や整理をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	67%	33%	0	0	個別で過ごせる部屋もあり、活動にあつた空間を作ってくれている。	今後も当日のコンディションに合わせて臨機応変な対応を取らせていただきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0	0	0	作業療法士の方もいて専門的な支援を受けていると思う。	今後も専門職員の意見を取り入れつつ支援を継続させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0	0	0	そう思う。	今後も送迎時に紙面等でご説明させていただきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0	0	0	子どもにとって難しい部分（切り替え等）が少しずつプラスに向くように親の意見を聞きつつ作成してくれた。	今後もご家庭での様子も含めて随時情報共有をさせていただいたうえで支援に入らせていただきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0	0	0	計画書で説明を受けている。	今後もご家族様と相談の上計画書を作成させていただき、計画書に沿った支援をさせていただきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0	0	0	子どもが飽きずに楽しめる内容だと思います。	活動前後のミーティングにて支援方法などを確認するようにしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0	0	0	毎月楽しい活動を予定してくれて子どもも楽しく通えている。	季節の行事や地域のイベントなどにも参加できるよう、活動内容を工夫しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	100%	0	0	0	大きいお祭りにお友達のママと参加させてもらった。保育園の様子も送迎時に教えてくれる。	保育所や幼稚園と併行通園されているお子さんも多くいますので、在籍園で他のお友達との交流が促されている場合もあるかと思えます。園訪問などによる在籍園との連携は必要に応じて対応しています。他の子どもと活動する機会についてはご要望や必要性に応じて今後検討していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	67%	33%	0	0	見学の際に説明してもらった。契約時に管理者さんから聞いている。	運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書、契約書を使用し説明しています。ご質問があれば随時対応しています。支援プログラムについては今後ホームページ上で公表し、保護者の方全員に配布資料としてお配りします。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0	0	0	説明を受けている。	今後も保護者様への説明と相談を継続させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	100%	0	家族が参加できる研修会には参加したことがない。	今後は保護者様を招いての研修会の開催を検討させていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%	0	0	0	送迎時や電話で相談させてもらっている。	今後もご家庭との密な情報共有を心掛けます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0	0	0	事業所で面談をしてもらっている。	今後もご家庭での様子も含めて情報共有をさせていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0	0	0	頑張れたこと等を送迎時に聞いている。	今後もスモールステップを意識して成功体験を積み重ねていただけるよう支援させていただきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	100%	0	保護者同士の交流の場には行ったことがない。	今後は上述の研修会の場で保護者様同士の交流の機会をもうけさせて頂けるよう検討いたします。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0	0	0	色んな変更や当日の朝の様子をお伝えして対応してもらっています。	今後も臨機応変な対応と報告をさせていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0	0	0	事業所での様子を連絡帳や口頭で教えてもらっている。	支援の様子を今後もお伝えさせていただき、些細な変化も共有させて頂ければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0	0	0	インスタをよく見えています。	自社HPにて自己評価の結果も掲載させていただいております。定期的なブログの更新も行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0	0	0	しっかりしてくれているんじゃないかと思う。	個人名の記載がある書類に関しては鍵付きの書庫で管理させていただいています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%	0	0	0	コロナやインフルエンザになった時の受け入れ態勢を教えてくれた。	社内の委員会を中心に、定期的な研修とミーティングを行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%	0	0	0	避難訓練をしていると聞いた。	年間行事で定めた時期に実際の避難場所へ避難訓練を行っています。防災リュックの点検も利用者様と共にしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%	0	0	0	お出かけ時等安全に気を付けてくれる。	常に安全第一で人員配置を行い、当日のヒヤリハットの予測もミーティングで話し合っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0	0	0	契約時に聞いている。	契約時に掛かりつけ医に関しても伺っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0	0	0	毎回楽しかったことを教えてくれる。	安全だけではなく楽しみにつなげていただけるよう従業員で毎日申し送りを行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0	0	0	仲の良いお友達もできて楽しんでいる。	創作活動と運動活動のバランスに注意し、楽しんでいただけるよう心がけています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0	0	0	いつもよくしてもらっている。	今後も安心していただけるよう年々従業員の知識、イベントの内容をブラッシュアップさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所あいらすたあ					公表日	令和7年 3月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	85%	15%	適切に守れていると思う。 活動や人数によってはスペースが狭く感じることがある。	集団活動で室内で運動を行う際に、十分なスペースで安全が確保できるよう少人数のチーム制にする等の環境設定の見直しが必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	人数に合わせて申し送り時に配置、役割の最終確認を行っている。	今後も継続して行う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85%	15%	玄関、廊下、トイレ、階段等様々な場所にスローパーがある。	来所～活動までのスムーズな流れを構築するために荷物置き場等の変更を検討し、導線の見直しを行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	70%	30%	定時で従業員全員で清掃を行っている。 終業後の環境整備担当の職員も決めている。 トイレの汚れが気になることがある。	多機能型事業所である為、共用で使用するトイレや玄関の美化により一層努める必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	感情のコントロールが難しい際のクールダウンの為に別室や集団活動が難しい児童向けの個別対応のスペースを設けて対応している。	今後も状況に応じて臨機応変に対応をする。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に面談を行っている。 一人一人個別の目標を設定して、自己採点や評価をしている(中間レビューも実施)。	具体的な目標設定期間の締め切りを、長期休みや下校が早い週等の取り掛かりづらい時期を予め念頭に入れて設定する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎年評価表を提出してもらっている。 いただいたご意見を職員間で共有させていただいている。	今後も継続して行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎日申し送りを行っており、月に1度のミーティングでも意見を共有し、業務改善を行っている。	今後も継続して行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	外部評価はまだ行うことが出来ていない。	今後の課題として検討させていただく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人研修、外部の研修を毎月受講している。 受講した内容を申し送り時に事業所で共有している。	今後も継続して行い、外部研修への参加機会を更に設けていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	85%	15%	令和6年度より実施している。	今後も継続して行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	事業所内やご自宅でモニタリングを行い、保護者様の意向を踏まえて計画書の作成を行っている。	専門的観点からの意見を更に取り入れ、今後も継続して行う。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	55%	45%	毎回他職種職員の職員が参加し多角的な意見を取り入れて会議を行っている。	今後も継続して行い、活発な意見交換が行えるよう進行の仕方を再度見直す。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	長期目標、短期目標に則って支援を行っている。 従業員への細かい周知がもっとあっても良いのではないかと。	ファイルにまとめる等の職員間で共有しやすい方法を再度検討する。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々の状況の変化の共有も出来ており、安全面に配慮して取り組むことが出来ている。	今後も継続して行う。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	70%	30%	5領域を踏まえ具体的な支援内容が設定されており、計画書に落とし込みが出来ている。	専門的観点からの意見を更に取り入れ、今後も継続して行う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	当日のトラブル予測も含め、話し合っ決めて行うことが出来ている。	今後も継続して行う。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	1か月毎にミーティングを行っている。 話し合いの元活動予定表を作成しており、季節に沿ったものを取り入れている。	室内活動と屋外活動、制作活動と運動活動等のバランスを考慮する。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団活動に参加することが特性や当日のコンディションで難しい方も居られるので、申し送り時に話し合い、臨機応変に対応をしている。	今後も継続して行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝申し送りをしている。当日のキャンセル等の予定も含め職員間で連携と共有が行っている。	今後も継続して行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	60%	翌日に前日の振り返りを行っている。その際に前日の送迎時の伝達事項も共有している。	今後は翌日ではなく支援終了時に共有できる形を検討する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	85%	15%	毎日支援の記録をとっている。内容に関して申し送り時に共有もしている。	連絡帳の作成に関し、効率の良い方法を再度検討する。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	85%	15%	半年に一度実施している。事業所にお越しいただいて対面の形での対応もとらせていただいている。	中々都合が付きにくい保護者様も居られるため、もっと早い段階での日程調整を行う必要がある。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	85%	15%	安全第一で取り組んでいる。その上で各活動に関する目的や狙いも共有している。	職員間で活動に対する目的や狙いを更に共有することで円滑な支援、より深い視点での活動中の様子観察へ繋げていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	70%	30%	活動によっては全員で取り組むものもあるが、道具や順番等自己決定の機会も設けている。	今後は更に自己選択出来る形へ活動準備や進行の仕方を再度検討する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85%	15%	管理者が参加している。各機関と定期的な連絡をとりあうことで連携を図っている。	今後も継続して行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	70%	30%	医療関係と連携して支援を行う事は中々出来ていないが、アレルギーや服薬による様子の変化は常時共有している。	協力医療機関との定期的な連絡を行う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%	児童発達支援センターとの連携は図れていない。	今後自事業所のみではなく様々な意見を取り入れていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	85%	15%	自社の大型イベントにて、地域の方々に利用者様の作品や発表を見ていただいたりと交流の場を持たせていただいている。	更に地域の方々と交流を持たせていただけるよう大型イベントだけではなく、小さなお祭りの開催等も検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	85%	15%	送迎時に様子を伝えている。その際に家庭での様子や課題について話している。	今後も継続して行い、職員間の共有も欠かさず行う。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	85%	15%	送迎時に様子を伝えている。その際に家庭での様子や課題について話している。	今後も継続して行い、職員間の共有も欠かさず行う。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0%	100%	ご相談いただいた際は助言をさせていただいているが、ご家族様が参加できる研修等はまだない。	ご家族様向けの研修等を開催できるよう検討する。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	契約時に管理者が行っている。	今後も継続して行う。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援内容について予めご相談の上作成させていただき、日々の様子も送迎時にお伝えさせていただいている。	今後も継続して行う。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	作成したものを確認していただき、実施後も様子をお伝えさせていただきながら修正等を行っている。	今後も継続して行う。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	保護者同士の交流機会は設けることができていない。	上述の保護者様向けの研修会で交流の時間も持つことが出来ないか検討する。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	職員間で共有し、管理者を中心に迅速に対応・改善をさせていたがいてる。	些細な内容や、保護者様が気にされていない内容でもクレームではなく貴重なお意見として捉え都度共有と改善を行っていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	Instagram、ブログ等のSNSで活動の様子を発信している。毎日連絡帳を発行している。	今後も継続して行っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人名の記載がある書類は鍵付きの書庫で管理している。	今後も継続して行っていく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	55%	45%	難しかったことを伝える際は、「他のアプローチをしたら出来た」や「出来なくてもここまで頑張れた」ことを伝えるようにしている。 従業員によっては伝達が不十分に感じる。	利用者様に今後もスモールステップで自己肯定感を高めていただく為に、「失敗」ではなく「小さな成功」として捉えながら関わらせていただく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	毎月ではないが、大きな行事では招待できている。	上述の児童間との関りと同じく、地域密着型の小さなイベントの開催を検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	研修の機会を設け、定期的を実施と見直しを行っている。	社内の委員会を中心に今後も継続して行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的防災訓練を行っている。実際の避難経路や防災グッズの確認も行っている。	定期的な見直し、修正を今後も行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	85%	15%	契約時やその後変更があれば随時共有を行っている。	服薬の変更等今後も保護者様との情報共有を継続して行う。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	85%	15%	医師の指示書に基づく対応まではされていないが、職員間でアレルギーの把握を行えている。	身体ケアが必要な利用者様は居られないが、ご家族様との情報を共有することで医師の指示を元に精神面でケアが必要な方が居られるかどうか再確認する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	85%	15%	定期的に見直しと修正を行っている。	定期的な見直し、修正を今後も行っていく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	小さなヒヤリハットもご家族と共有している。	送迎時の伝達漏れを防止する為新しい様式を用いて記録に残す形を検討する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月ヒヤリハットを作成しており、デイミーティング、申し送りでも共有している。	今後も継続して行う。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	70%	30%	研修も行っており、毎月従業員個人と事業所全体で適切な対応をとることが出来ていたかどうかミーティングでチェックしている。	社内の委員会を中心に今後も継続して行う。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に管理者より書面と口頭にて説明を行っている。	今後も継続して行う。	